

PROJECT REPORT 「水戸まちなかデザイン会議」開催概要(2025年5月~12月)

水戸まちなかデザイン会議では、水戸のまちなかの未来を、自分ごととして考え、まちなかの再生に向けたアイデアの共有や実験企画の検討を重ねています。2025年度も「水戸まちなかりビング作戦2025」の企画やロゴ制作に向けて多様な議論が交わされました。

水戸まちなかフェスティバル 2025.5.3

「水戸まちなかフェスティバル」に出展し、活動内容の展示とアンケート企画を行いました。アンケートでは、水戸まちなかのおすすめスポットや水戸といえば何かを伺い、幅広い世代の方にご参加いただきました。



第36回 2025.6.29

今年度の取り組みについて共有し、水戸のまちなかの再生に向けて、「今何をすべきか・自分たちで何ができそうか」をテーマにアイデア出しを実施しました。会議後には参加者同士の交流会としてバーベキューも行い、親睦を深めました。



第37回 2025.7.13

前回到続き、まちなかの再生に向けたアイデア出しを行いました。これまでのアイデアや取り組みを参考に、より具体的な内容を出し合いました。



第38回 2025.7.27

これまで出された、まちなかの再生に向けたアイデアを踏まえ、「水戸まちなかりビング作戦」の具体的な内容を検討しました。



第39回 2025.8.24

「水戸まちなかりビング作戦2025」に向けて企画案を固めるとともに、当活動のロゴのデザイン案について議論しました。



第40回 2025.10.11

「水戸まちなかりビング作戦2025」の一環として、大通りの歩道にベンチやプランターを設置し、快適な歩道空間づくりを行いました。



第41回 2025.11.22

「水戸まちなかりビング作戦2025」の実施エリア等をまち歩きしたほか、プレオープンしたテツ・アートプラザや撤去が進む南町3丁目のアーケード等、変化しつつある水戸のまちなかをみんなで探索しました。



第42回 2025.12.21

大通りのイルミネーションと撤去中のアーケードという今だけのまちなかをみんなで歩き、その後、忘年会を開催しました。今年の活動を振り返り、来年のチャレンジについて話し合いました。



第6回シンポジウムのお知らせ

2026年3月頃に第6回水戸まちなかデザインシンポジウムを開催予定です。「水戸まちなかりビング作戦2025」の実施内容や検証結果などをご報告します。日程等は公式ホームページや各SNSにて改めて発信します。続報をお待ちください。

過去のアーカイブ動画はYouTubeにて配信!

水戸まちなかデザイン会議の様子などもご視聴いただけます。



まちみどらボが提案する水戸のキュレート・ポータルサイト「TRIX MAG [トリックスマガジン]」

「TRIX MAG [トリックスマガジン]」では、ピックアップイベントの紹介、今日明日・週末のイベントがピンポイントで検索できるイベントサーチ、水戸の観光案内情報など様々なコンテンツをご用意しています。ぜひ、ブックマークしてみてください。イベント情報もぜひお寄せください。

<https://www.trix-mag.com>



水戸のまちなか
IMAがわかる
フリーペーパー

TRIX MAG

MEDIA MIX FREEPAPER

<https://www.trix-mag.com>

VOL
15
2025
WINTER

TRIX MAG. paper はウェブサイトTRIX MAG. [トリックス マガジン]と連動して不定期発行するフリーペーパー。
TRI=3、X=10 で310=水戸を表し、水戸芸術館でもタワーのモチーフになっている10個の三角形をあしらっています。
アートや音楽、演劇、映画、ライフスタイルのカルチャーコラムを中心に、水戸のまちなかで行なわれる催しの情報を発信していきます。

Symbol mark

MITO MACHINAKA



●印 撮影:川端 悠輔(ばたやん) Instagram:@bata_009

「水戸まちなかりビング作戦2025」を実施 まちなかの緑化と人とのつながりを生む空間・仕組みづくりに取り組んでいます

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会(以下、協議会)では、2025年10月4日から11月29日まで「水戸まちなかりビング作戦2025」(以下、実験)を実施しました。

実験では、昨年度に作成した「連携ビジョン素案」を実践・検証すべく、大通りの歩道と沿道空間に植栽やベンチを設置し、「快適な居場所づくり(“まちなかりビング”)」に取り組めました。また、デジタルサイネージ・ホームページ・SNSを活用して、「まちなか情報の発信」を行いました。

実験期間中には、有志によるまちなかの空間を活用した自主提案企画「まちなかチャレンジ」も実施しました。10月26日には、茨城ロボットのパブリック

ビューイングにあわせてフリーマーケット「あおぞらメルカート」、11月23日には、プラレールイベント「第2回まちなかでんしゃPROJECT」と、SDGsと本をテーマとしたイベント「よむ・つなぐ・つながる市」を開催しました。

さらに今回は、協議会の活動全体の認知度向上を図るため、新たにロゴを制作し、まちなかりビングや路線バスへの掲示など、広報活動にも注力しています。実験の企画やロゴの制作に当たっては、有志メンバーが参加する「水戸まちなかデザイン会議」で議論を重ねてきました。

TRIXMAG本号では、実験の概要と「水戸まちなかデザイン会議」の活動状況についてご紹介します。

HP・SNSで随時発信中
「mitonomachinaka」で検索!

水戸のまちなか大通り等
魅力向上検討協議会



PROJECT REPORT 「水戸まちなかりビング作戦2025」(期間:2025年10月4日~2025年11月29日)



「水戸まちなかりビング作戦2025」

期間:2025年10月4日(土)~2025年11月29日(土)

場所:水戸市南町2丁目・3丁目・泉町1丁目

水戸のまちなか再生に向けた未来ビジョンに基づく取り組み「水戸まちなかりビング作戦2025」。未来ビジョンを実現するためには、市民・行政・企業など多様な主体が力を合わせて進めていく必要があり、その第一歩として、2024年度に「連携ビジョン素案」を作成しました。

今回の実験では、「連携ビジョン素案」を実践・検証するため、国道50号沿いの歩道を活用した緑化やベンチの設置による「快適な居場所づくり」、歩道に設置したデジタルサイネージやSNSを活用した「まちなか情報の発信」、そしてまちなかの空間活用として、各提案者が主催者となって実施する自主提案企画「まちなかチャレンジ」を実施しました。

主催:水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会 運営:水戸まちなかりビング作戦実行委員会
協力:水戸市、時由地材、株式会社ラッキーナンバーズ、株式会社茨城ロボッツ、スポーツエンターテインメント、株式会社M-SPO、専門学校文化デザイナー学院、南町二丁目商店街振興組合、あおぞらメルカート実行委員会、isseco、水戸まちなかデザイン会議にご参加の皆さん、株式会社ミカミ ほか(順不同)

快適な居場所づくり

●大通りの歩道に植栽とベンチを設置

大通りの歩道は、歩道上の緑が少ないことや、ベンチと車道の距離が近いことなど、歩道の快適性に課題があります。加えて、街路樹など背丈のある緑が少ないため、木陰も少なく、夏は厳しい暑さにさらされる状況です。

今回の実験では、歩道上の緑や滞在空間としての安心感の確保に着目し、植栽を配置してまちなかに彩りを加えるとともに、廃材を活用したベンチと高さのあるフェンス・植栽を設置して快適性の向上を試みました。



●テーブルセットの設置

南町自由広場においても例年同様にテーブルセットを配置し、イベント時を中心に多くの方にご利用いただきました。テーブルセットは好評につき、設置を継続することが決定しました。引き続きご利用ください。



まちなか情報の発信



●共用駐輪場の設置

大通りの歩道上には植栽やベンチに加えて、例年に続き共用駐輪場を設置しました。今年度は設置箇所を増やしましたが、どの場所もよく利用されており、まちなかの利便性向上につながっていることが確認できました。



●ドッグランの改良

まちなかりビングの一つである南町2丁目のドッグランでは、実験期間終了後に歩道上に設置していた植栽やベンチを移設しました。緑を増やし、ベンチを配置したことで休憩スペースとしても快適に利用できるようにしています。



●大通りの歩道にデジタルサイネージを設置

まちなかに暮らす人、訪れる人のどちらにも情報が届くよう、南町2丁目にあるカスミ南町店前とドリーミン水戸前の歩道にデジタルサイネージを設置して、まちなかの情報を発信しました。

サイネージでは、水戸市民会館や水戸芸術館の公演情報や様々なイベント情報を配信し、まちなかの多様な魅力を楽しめる環境づくりを目指しました。

未来ビジョンの共有

●ロゴ制作

協議会・水戸まちなかデザイン会議・水戸まちなかりビング作戦など当活動全体への認知度向上を目指し、未来ビジョンの共有に向けてロゴを制作しました。デザイン:甲高美德(K5 ART DESIGN OFFICE.)



●ポスターの掲示

ロゴや昨年度制作した未来ビジョンのビジュアルイメージ等をまとめたポスターを、実験会場やまちなかチャレンジ等のイベント、茨城交通の路線バスの車内に掲示しました。



●横断幕の設置

自家用車や公共交通を利用する方に向けた発信方法として、国道50号沿いに横断幕を設置しました。昨年度に引き続き、連携企画として茨城ロボッツの横断幕も掲出し、まちなかに茨城ロボッツの存在を感じられる風景をつくりました。



まちなかチャレンジ

●あおぞらメルカート

日時:10月26日(日) 10:00~16:00

会場:M-SPO/南町自由広場

主催:あおぞらメルカート実行委員会

対面での交流機会が減少している現状を踏まえ、商品を介して人と人をつなぐコミュニケーションづくりを目的とするフリーマーケットが開催されました。当日は、飲食や古着、ハンドメイド雑貨、植物など多彩な23組のお店や有志が集まり、参加者と来場者が交流を楽しめる場が生まれました。

この企画は、茨城ロボッツが行う「ロボッツまちづくりプロジェクト」の一環としてユードムアリーナで開催されたパブリックビューイングに合わせて実施され、まちなかでの賑わいづくりに向けた試みとなりました。



●第2回まちなかでんしゃPROJECT

●よむ・つなぐ・つながる市

日時:11月23日(日)10:00~16:00

会場:M-SPO/南町自由広場

主催:isseco・時由地材・

水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会

昨年度に続き開催された「第2回まちなかでんしゃPROJECT」では、ユードムアリーナにて泉町のプラレール専門店によるプラレール展示や中古プラレール販売のほか、JR東日本水戸支社なども参加し、子ども向けの制服試着体験や公式キャラクター「ムコナくん」との撮影会も行われました。

南町自由広場では、SDGsと“本”をテーマにした「よむ・つなぐ・つながる市」が開催され、オリジナル本の展示販売や絵本の読み聞かせ、本の修理に加え、キッチンカーや雑貨、古着などが出店し、親子で楽しめるコンテンツが展開されました。

同日に、ユードムアリーナと南町自由広場でイベントを開催したことで、会場全体が一体感のあるにぎわいに包まれ、多くの親子連れで賑わいました。

